

# 北斎かわらばん

第三十一号



富嶽三十六景

五百らかん寺さざみどう

「富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう」(大判錦絵)天保2(1831)年頃

北斎の代表的なシリーズ「富嶽三十六景」より、五百羅漢寺の三匠堂(別名さざみ堂)を描いた一図です。

五百羅漢寺は、本所五ツ目(現江東区大島四丁目)にあった禅寺で、現在は目黒にあります。元禄時代(一六八八〜一七〇四)に松雲禅師が制作した五百体以上の羅漢群像と、寛保元(一七四一)年建立の三匠堂で知られていました。三匠堂とは、三回巡る堂という意味で、内部は三層の螺旋構造の通路となっていました。別名のさざみ堂は、その構造や形がサザエ貝に似ていることに由来します。

堂の最上階まで登ると、当時は高い建物があまりないため、はるか遠くに富士山を望むことができました。

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎03-5608-6115  
【編集協力】  
(公財)墨田区文化振興財団  
北斎事業課



北斎は、この高樓の最上階で眺望を楽しむ人々を手前に、奥に本所や深川の家々の屋根、材木置き場の材木、そして富士山を描いています。

手前の画面中央に描かれた三人の男女は、暑いのが腕まくりをしています。その横の手ぬぐいを頭に載せている男性は、日を避けているのでしよう。また、子供の手を引く女性は団扇を持っており、季節は夏と考えられます。しかしながら、富士山は下のほうまで雪を頂いています。下界の様子とは対照的に涼しげに佇む姿が、超然とした存在を示しています。

北斎さんは  
どんな  
人？



個性的な

# 子孫

を持った人

北斎には  
知られざる意外な  
一面がありました

## 北斎さんは

### 二男四女の父

浮世絵師として広くその名を知られ、多くの作品を残した北斎ですが、今回は絵の話題をちよつと離れて、北斎の家族のことについてみてみましょう。

北斎は二度結婚したことがわかっていて、最初の妻との間に一男二女を授かりました。その妻が亡くなり、のちに二人目の妻、ことを迎えます。こととの間にも一男二女を授かりました。計六人の子供のうち、次女の阿鉄と四女の阿猶は早くに亡くなったと伝わっています。

長男は富之助といいますが、北斎は幼少期に幕府の

御用鏡師の家に養子に入りますが、絵師になってしまったため、家督は富之助が継いだといえます。次男の崎十郎は、幼名を多吉郎といいました。崎十郎は加瀬家に養子に入ります。下級武士でしたが、四十数年勤めました。長女の阿美与は、北斎の弟子のひとりである柳川重信に嫁ぎましたが、後に離縁してしまいます。

### 一躍脚光を浴びた

#### 三女、阿栄

三女の阿栄は、近年、アニメ映画『百日紅』が公開されたり、小説『眩』や『北斎と応為』が発売されたりと注目を集めています。阿栄は北斎の娘というだけでなく、応

為という画号を持つ北斎の弟子でもありました。一度は南



『女重宝記』葛飾応為筆 弘化4(1847)年刊

沢等明という絵師に嫁ぎますが、やがて離縁してしまいました。離縁の理由は一説に、阿栄が等明の絵の拙さをばかにして笑ったからだといわれています。実家に戻った阿栄は自身の作品を制作したり、北斎の作画を手伝ったりもしたようです。

阿栄は北斎に似て個性的だったといいますが、絵の腕前も親譲りだったようです。北斎も阿栄の腕前は評価しており、女性を描かせたらとてもかわないと認めるほどでした。

### ドラ孫と孝行孫

北斎には孫もいました。知られているのは、阿美与の息子と、崎十郎の二人の子、弥次郎と多知です。阿美与の息子はさまざま悪事を働き、北斎はその尻拭いをさせられたといえます。この孫の悪行は直らなかつたようので、父親の柳川重信に引き取らせて奥州へ連れていかせたとされています。迷惑をかける孫がいる一方で、曾祖父思いのひ孫もいます。多知の息子昶次郎は、現在台東区元浅草四丁目にある誓教寺に北斎のお墓を建てました。北斎の子孫として知られているのは、玄孫にあたる昶次郎の息子の存在までで、その後についてはわかっていません。

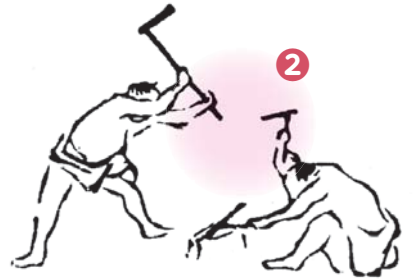
ご紹介します。  
北斎の時代から今も続いている職業ですが、ずいぶん様子がかわってしまいました。いつものように、絵のタイトルをあててみてね。答えはページの下のよ。



# 絵のタイトルを当てよう



1 風が吹けば儲かる、かな



2 トンテンカン、トンテンカン



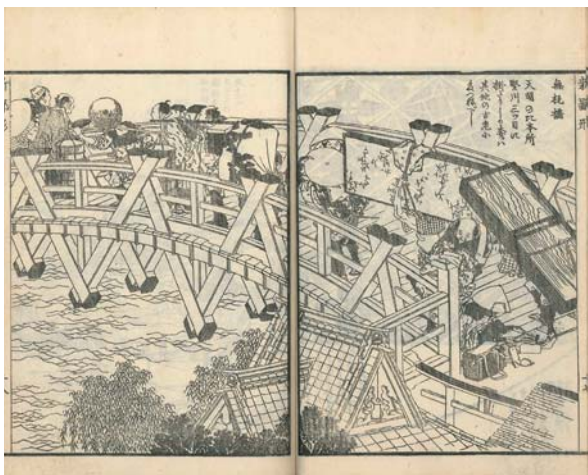
3 布に色を付けるよ



4 今でも長良川で行われています



5 ハッケヨイ、ノコッタ!



『諸職絵本新鄙形』天保7(1836)年刊

時には架かっています。この本が刊行された、天保七(一八三六)年当時には架かっていた。なお、無杭橋の費用は約三〇〇両であった。杭のある橋よりも一七両も費用がかかるといいます。

縦川には江戸城の方から数えて一の橋、二の橋、三の橋、四の橋までありました。そのうち北斎は、『諸職絵本新鄙形』という本のなかで、一時だけ存在した珍しい様式の三の橋を描いています。図の説明には無杭橋とあり、天明年間(一七八一〜八年)の頃に本所縦川の三つ目に架かっていたとあり

## 北斎の描いた三の橋

ます。無杭橋とは、橋杭(橋脚)のない橋で、北斎の絵もそのように描かれています。詳しいことは土地の古老にたずねるのとあり、実際には寛政六(一七九四)年に架橋され、文化二(一八〇五)年の架け替の際に橋杭のある橋になりました。

すみだと北斎

## 3億8000万円を超える寄付金が集まりました！



平成26年より開始した「墨田区北斎基金」寄付キャンペーンは、皆さまからの多大なご支援により、3億8000万円を超える寄付金が集まりました。

ご寄付いただいた方につきましては、重ねてお礼申し上げます。

引き続き墨田区では、ふるさと納税を活用した寄付を募集しております。区の魅力あふれる地域ブランド「すみだモダン」の認証商品・メニューを中心に、お礼の品をご用意しています。

すみだ北斎美術館の開設に向けて、皆さまからのあたたかい応援・ご支援をよろしくお願いいたします。

寄付金額(平成28年2月末現在) **383,769,330円** 件数:3,452件

■ すみだ北斎美術館  
寄付キャンペーンサイト

<http://hokusai-museum.jp/kifu/>

■ ふるさと納税サイト  
「ふるさとチョイス」

ふるさとチョイス 墨田区

検索



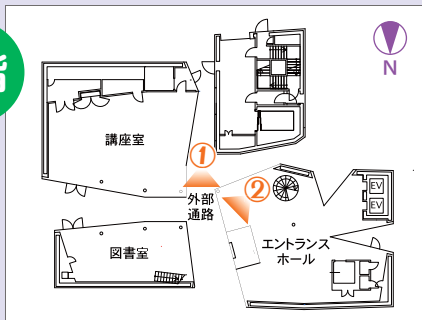
### すみだ北斎美術館 建設現場レポート

平成28年11月の開館に向け、順調に建設工事が進んでいます。今回は工事現場の状況を少しだけご覧ください。

なお、竣工は平成28年4月末となっております。

※写真は平成28年2月現在のものです。

1階



外観フォト



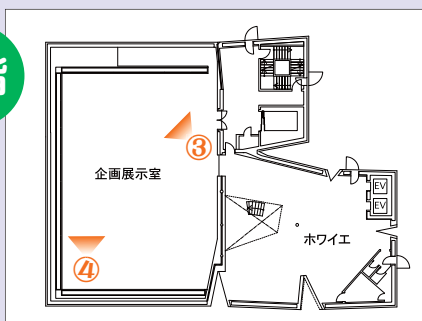
足場が外れた部分から、特徴的なアルミパネルが見えてきました。

フォト①



1階エントランスホール前の外部通路です。

3階



フォト②



1階の図書室です。

フォト③



3階の企画展示室です。

4階



フォト④

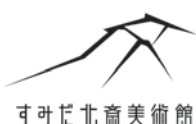


3階の企画展示室です。

フォト⑤



4階の常設展示室です。



下記ホームページでは、すみだ北斎美術館のダイジェスト映像や、無料でダウンロードできるスクリーンセーバーなどもご用意しております。是非、ご覧ください。

<http://hokusai-museum.jp>